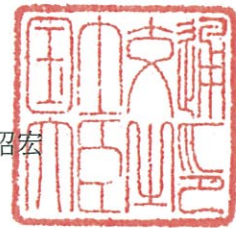


認定書

国住指第 1328 号
平成 27 年 8 月 19 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0836
2. 認定をした構造方法等の名称
合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材 (準不燃材料)

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1) ～ (3) のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス
表面化粧材の厚さ (mm)	3.5 ± 0.4 以下
表面化粧材の質量 (g/m^2)	555.0 ± 55.5 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙 …厚さ $3.5 \pm 0.4\text{mm}$ 以下 質量 $555.0 \pm 55.5\text{g}/\text{m}^2$ 以下 (有機質量 $251.0 \pm 25.1\text{g}/\text{m}^2$ 以下) 構成： [1] 化粧：合成樹脂フィルム …厚さ $0.05 \pm 0.005\text{mm}$ 以下 質量 $50.0 \pm 5.0\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $30.0 \pm 3.0\text{g}/\text{m}^2$ 以下) 構成： [1]-1 合成樹脂フィルム：(1)、(2) のうち、いずれか一仕様とする (1) 合成樹脂フィルム^{※1}…厚さ $0.05 \pm 0.005\text{mm}$ 以下 質量 $29.0 \pm 3.0\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $29.0 \pm 3.0\text{g}/\text{m}^2$ 以下) (2) フッ素系樹脂フィルム…厚さ $0.05 \pm 0.005\text{mm}$ 以下 質量 $30.0 \pm 3.0\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $30.0 \pm 3.0\text{g}/\text{m}^2$ 以下) [1]-2 合成樹脂：(1)、(2) のうち、いずれか一仕様とする (1) 合成樹脂：質量 $20.0 \pm 2.0\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10.0 \pm 1.0\text{g}/\text{m}^2$ 以下) 構成 (g/m^2) { 合成樹脂^{※2} …… 10.0 ± 1.0 以下 (但し、ポリエステル系は $2.0 \sim 9.0$ とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8} …… $0 \sim 19.0 \pm 1.9$ 無機質系添加剤^{※3} …… $0 \sim 19.0 \pm 1.9$ (2) なし [1]-3 印刷インク：(1)、(2) のうち、いずれか一仕様とする (1) 印刷インク：質量 $20.0 \pm 2.0\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10.0 \pm 1.0\text{g}/\text{m}^2$ 以下) 構成 (g/m^2) { 合成樹脂インク^{※4} …… 10.0 ± 1.0 以下 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8} …… $0 \sim 19.0 \pm 1.9$ 無機質系添加剤^{※3} …… $0 \sim 19.0 \pm 1.9$ (2) なし</p>

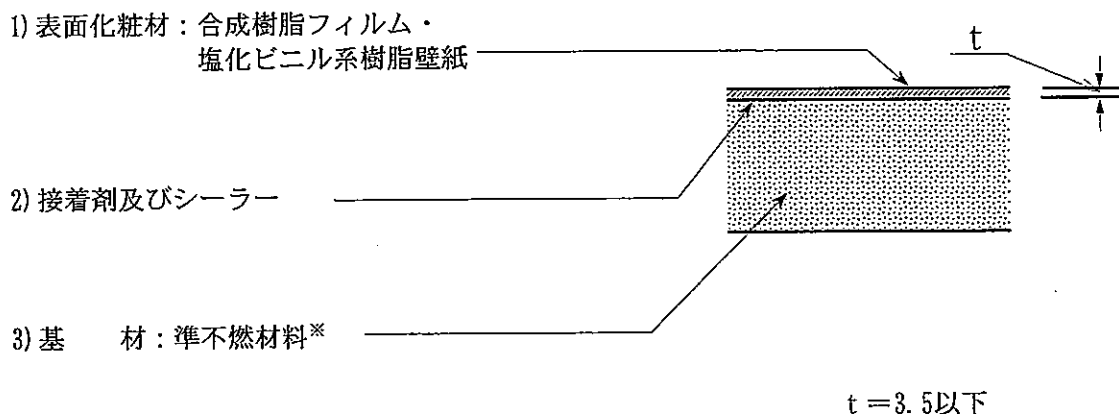
項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	[2] 主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする
	(1) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.8 ± 0.3 mm以下
	質量 355.0 ± 35.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 156.0 ± 15.6 g/m ² 以下 ^{※6})
	構成 (g/m ²) ^{※5}
	{ 塩化ビニル樹脂 ……………95.7 \pm 9.6以下
	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) ……………55.5 \pm 5.5以下
	(但し、減粘剤は、0～11.0 \pm 1.1の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8} ……………7.4 \pm 0.8以上
	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリド ^{※9}) ……………0～5.2 \pm 0.5
	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) ……………4.8 \pm 0.5以下
	有機質系顔料 ^{※9} ……………0～3.0 \pm 0.3
	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……………0～2.2 \pm 0.3
	(2) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.8 ± 0.3 mm以下
	質量 345.0 ± 34.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 146.0 ± 14.6 g/m ² 以下 ^{※6})
	構成 (g/m ²) ^{※5}
	{ 塩化ビニル樹脂 ……………89.5 \pm 9.0以下
	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) ……………52.0 \pm 5.2以下
	(但し、減粘剤は、0～10.3 \pm 1.1の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8} ……………6.9 \pm 0.7以上
	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリド ^{※9}) ……………0～4.8 \pm 0.5
	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) ……………4.5 \pm 0.4以下
	有機質系顔料 ^{※9} ……………0～2.8 \pm 0.3
	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……………0～2.1 \pm 0.3
	(3) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.8 ± 0.3 mm以下
	質量 335.0 ± 33.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 136.0 ± 13.6 g/m ² 以下 ^{※6})
	構成 (g/m ²) ^{※5}
	{ 塩化ビニル樹脂 ……………83.4 \pm 8.4以下
	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) ……………48.4 \pm 4.8以下
	(但し、減粘剤は、0～9.6 \pm 1.0の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8} ……………6.5 \pm 0.7以上
	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスポンジスルホニトリド ^{※9}) ……………0～4.5 \pm 0.5
	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) ……………4.2 \pm 0.4以下
	有機質系顔料 ^{※9} ……………0～2.6 \pm 0.3
	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……………0～1.9 \pm 0.2

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※10} : (1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙 : …厚さ0.5 ± 0.05mm以下、質量150.0 ± 15.0g/m²以下 (有機質量65.0 ± 6.5g/m²以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …65.0 ± 6.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}15.6 ± 1.56以下とし、かつ有機質量を52.0 ± 5.2以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …8.8 ± 0.9以下 有機繊維^{※11} …46.0 ± 4.6以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を47.0 ± 4.7以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は1.0 ± 0.1 ~ 16.6 ± 1.66とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p> <p>(2) 裏打紙 : ([2] 主素材が (2) の場合に限る) …厚さ0.5 ± 0.05mm以下、質量150.0 ± 15.0g/m²以下 (有機質量75.0 ± 7.5g/m²以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …75.0 ± 7.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}18.0 ± 1.8以下とし、かつ有機質量を60.0 ± 6.0以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …10.1 ± 1.0以下 有機繊維^{※11} …53.0 ± 5.3以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を54.0 ± 5.4以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は1.0 ± 0.1 ~ 19.2 ± 1.92とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が(3)の場合に限る) …厚さ0.5 ± 0.05mm以下、質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量85.0 ± 8.5g/m²以下) 構成(g/m²):1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …85.0 ± 8.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}20.4 ± 2.04以下とし、かつ有機質量を68.0 ± 6.8以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …11.6 ± 1.2以下 有機繊維^{※11} …61.0 ± 6.1以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を62.0 ± 6.2以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0 \pm 0.1 \sim 22.2 \pm 2.22$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p> <p>※1:合成樹脂フィルムは、エチレン・ビニルアルコール共重合体系樹脂フィルム、ポリプロピレン系樹脂フィルム、塩化ビニル系樹脂フィルムのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルキジラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレン・アルコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※6:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※7:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメリット酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、亜硫酸亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鋳物粒及び鋳物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※2}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。</p> <p>※11:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※12}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニコロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$以下) 構成: 以下の [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤 …質量$60 \pm 6.0 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%) { でん粉のり……………80 ± 2以上 補強剤^{※13}……………20 ± 2以下 (又は補強剤なし)</p> </div> </div> <p>[2] シーラー: 合成樹脂^{※14} …質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$以下)</p> <p>2) …質量$40 \pm 4 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$40 \pm 4 \text{g/m}^2$以下) 構成: 以下の [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤 …質量$40 \pm 4 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$40 \pm 4 \text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%) { メチルセルロース……………80 ± 2以上 補強剤^{※13}……………20 ± 2以下 (又は補強剤なし)</p> </div> </div> <p>[2] シーラー: 合成樹脂^{※14} …質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$以下)</p> <p>※13: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※14: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料</p> <p>平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図 (寸法単位: mm)



※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの